



やましん

中小企業景況レポート

山梨信用金庫 経営戦略部
〒400-0032 甲府市中央 1-12-36
TEL 055-225-0213
ホームページアドレス
<http://www.yamasin.jp/>

2018.7.17 発行

■ 調査要領 ■

1. 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
2. 調査時期・期間
調査時期：2018年6月1日～7日
調査期間：今期実績 2018年4月～6月
来期見通し 2018年7月～9月
3. 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
4. 分析方法
DIを中心に分析

■ 調査対象と回答状況 ■

業種	企業数	回答数	回答率
製造業	30	30	100%
卸売業	15	14	93.3%
小売業	15	15	100%
サービス業	29	27	93.1%
建設業	23	23	100%
不動産業	8	7	87.5%
合計	120	116	96.6%

※ 国中地区 70社、東部地区 29社、相模原市周辺地区 17社

※ DI (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い(増加)」とした企業割合－「悪い(減少)」とした企業割合の構成比との差(判断DI)による分析です。例えば、回答が以下のような場合のDIの算出方法は、次のとおりです。

(例)「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DIは50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝+30となります。DI値が高いほど景気が良いことを示しています。

業況判断DI

業種	前期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	DI	良い	悪い	DI
総合	▲6.1	23.2	24.1	▲0.9	27.5	18.1	9.4
製造業	0.0	30.0	26.6	3.4	36.6	20.0	16.6
卸売業	▲20.0	21.4	35.7	▲14.3	14.2	21.4	▲7.2
小売業	▲6.7	33.3	13.3	20.0	33.3	6.6	26.7
サービス業	▲3.6	25.9	29.6	▲3.7	33.3	25.9	7.4
建設業	▲8.7	13.0	13.0	0.0	13.0	13.0	0.0
不動産業	0.0	0.0	28.5	▲28.5	28.5	14.2	14.3

業種別景気天気図

業種	前期	今期	見通し
総合			
製造業			
卸売業			
小売業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

31以上	11~30	10~▲10	▲11~▲30	▲30未満

概況

<業況・売上・収益>

今期（4～6月）のD Iをみると、業況判断D I（「良い」－「悪い」）は、前期（1～3月）の▲6.1から▲0.9と5.2ポイント改善（前年同期比3.3ポイント改善）しました。売上D I（「増加」－「減少」）は、▲13.8から9.5と同23.3ポイント改善（前年同期比13.8ポイント改善）、収益D I（「増加」－「減少」）は▲17.2から9.5と同26.7ポイント改善（前年同期比10.4ポイント改善）となり、すべてのD Iにおいて改善となりました。

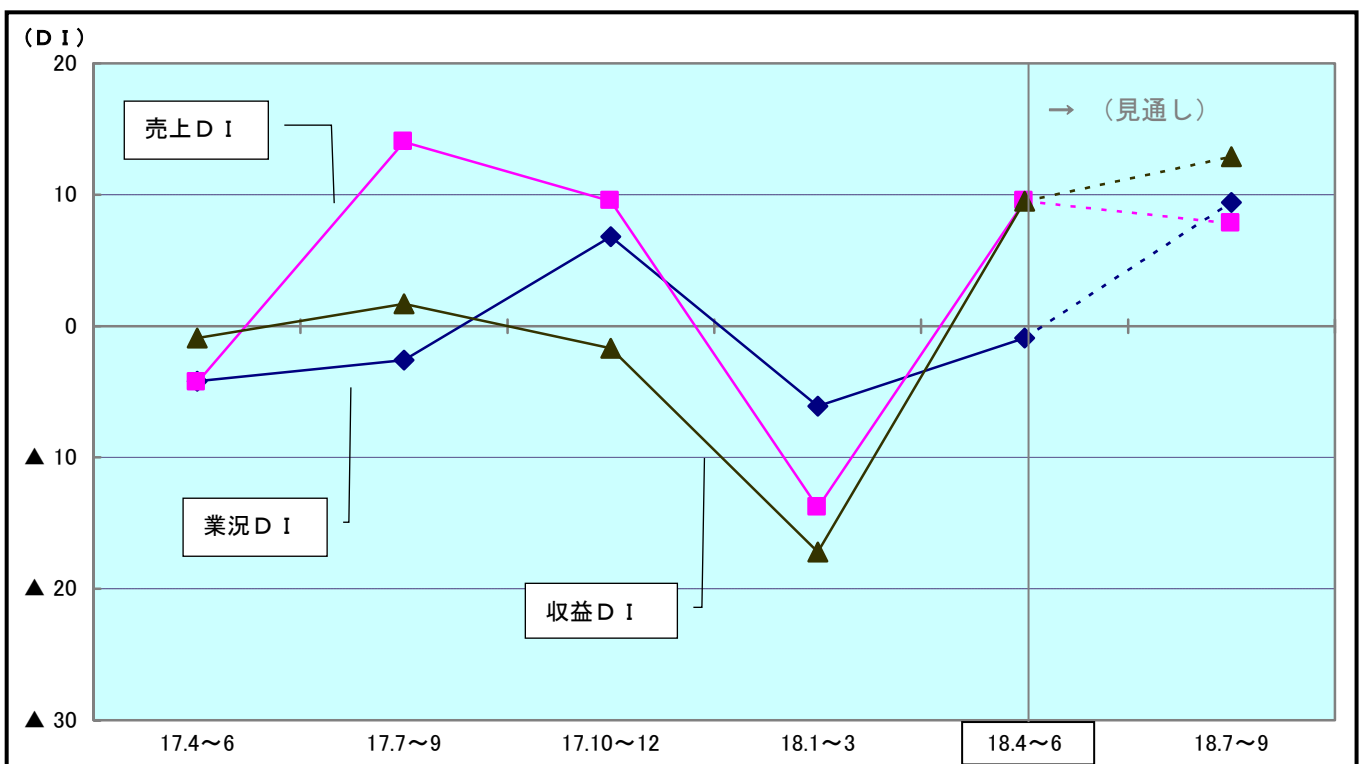
業況D Iについては、不動産業が0.0から▲28.5と28.5ポイント悪化、サービス業が▲3.6から▲3.7と0.1ポイント悪化したものの、その他の業種において改善となりました。

売上D I、収益D Iについては、すべての業種で改善となりました。

全業種総合の来期見通し（7～9月）をみると、業況判断D Iが▲0.9から9.4と今期実績比10.3ポイントの改善が見込まれております。また、売上D Iは9.5から7.8と同1.7ポイントの悪化、収益D Iは▲9.5から12.9と同3.4ポイントの改善が見込まれております。業種別の業況判断D Iは、建設業が横這いを見込んでいるものの、その他の業種で改善が見込まれており、来期の景況感への期待が窺えます。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移

	17.4～6	17.7～9	17.10～12	18.1～3	18.4～6	18.7～9見通し
業況D I	▲4.2	▲2.6	6.8	▲6.1	▲0.9	9.4
売上D I	▲4.3	14.0	9.5	▲13.8	9.5	7.8
収益D I	▲0.9	1.7	▲1.7	▲17.2	9.5	12.9



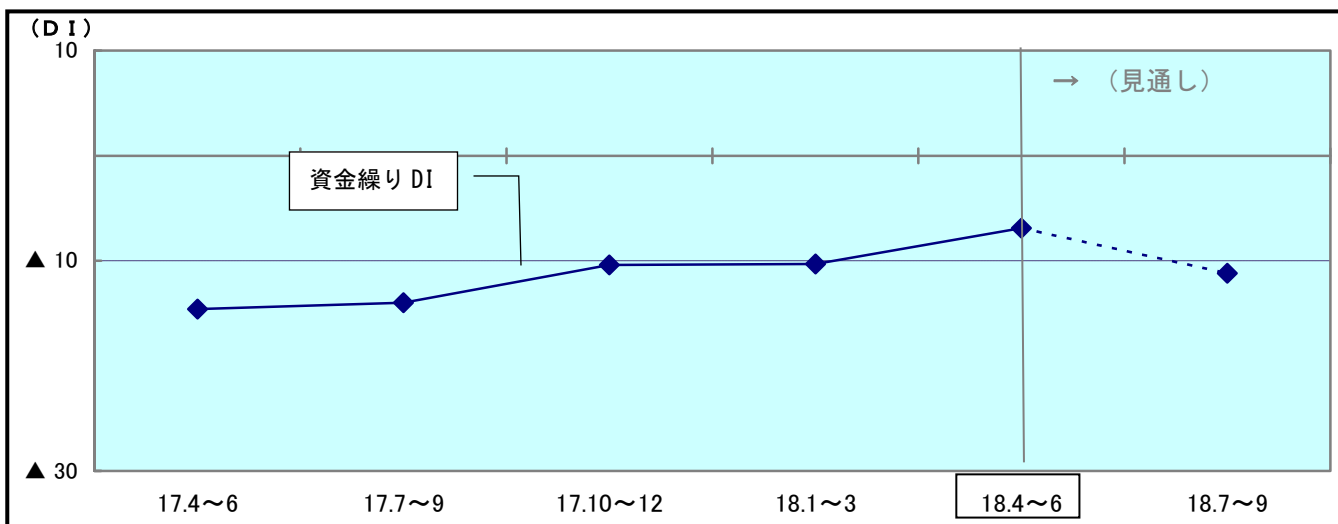
<資金繰り>

資金繰りDI（「楽」－「苦しい」）は▲6.9と、前期比3.4ポイントの改善となりました（前年同期比7.7ポイント改善）。

また、来期の資金繰りDIは▲11.2と、今期実績比4.3ポイントの悪化が見込まれています。

■ 資金繰りDIの時系列推移

	17.4~6	17.7~9	17.10~12	18.1~3	18.4~6	18.7~9 見通し
資金繰りDI	▲14.6	▲14.0	▲10.4	▲10.3	▲6.9	▲11.2



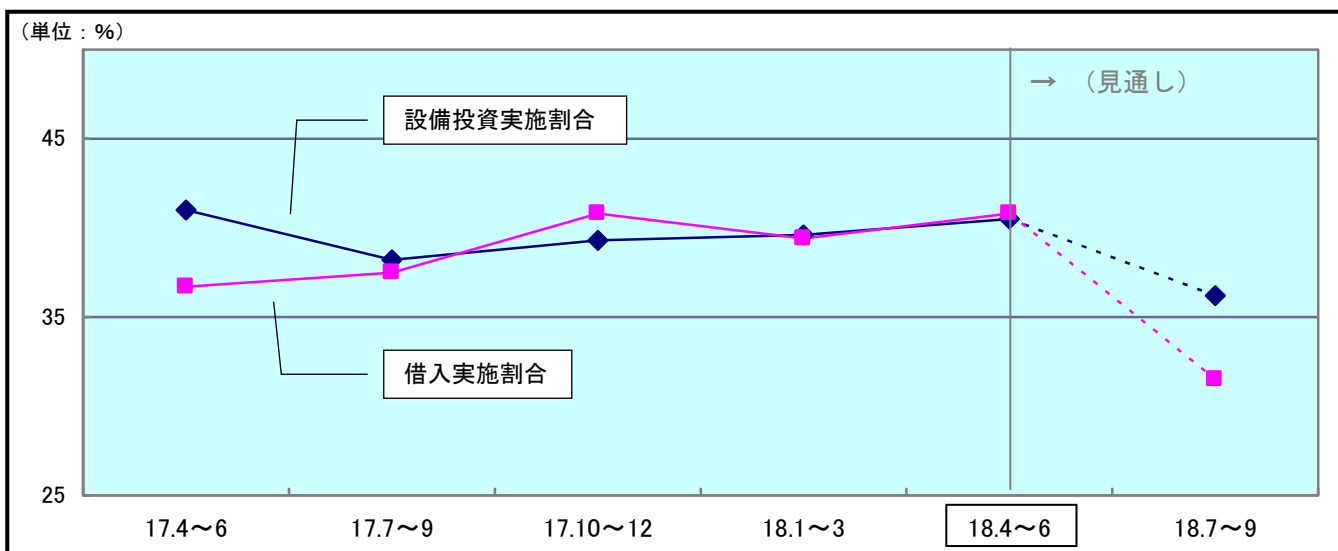
<設備投資・借入動向>

不動産業を除いた設備投資実施企業割合は40.5%と、前期比0.9ポイント上昇しています（前年同期比0.5ポイント低下）。また、来期の設備投資実施予定企業割合は36.2%と、今期実績比4.3ポイントの低下が見込まれています。

全業種総合の借入実施企業割合は40.8%と、前期比1.4ポイント上昇しています（前年同期比4.1ポイント上昇）。また、来期の借入実施予定企業割合は31.5%と、今期実績比9.3ポイントの低下が見込まれています。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移

	17.4~6	17.7~9	17.10~12	18.1~3	18.4~6	18.7~9 見通し
設備投資実施割合	41.0%	38.2%	39.3%	39.6%	40.5%	36.2%
借入実施割合	36.7%	37.5%	40.8%	39.4%	40.8%	31.5%



【製造業】

【今期】すべてのD Iにおいて、前期（1～3月）比で改善となっております。経営上の問題点として前回調査同様「人手不足」が上位となっており、人材の確保が難航していることが窺えます。

【来期】業績D Iにおいて、今期実績比13.2ポイントの改善を見込んでいるものの、その他のD Iにおいては悪化が見込まれております。当面の重点経営施策として、「人手不足」や「売上の停滞・減少」を背景に「人材の確保」「販路の拡大」を掲げる企業が半数以上となる結果となりました。

■経営上の問題点（）内は前回順位

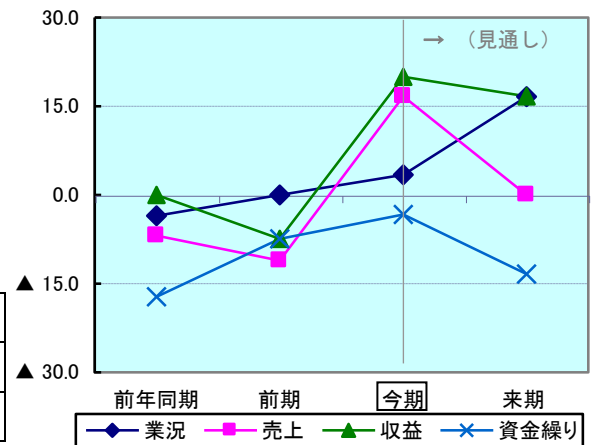
1	人手不足(1)	50.0%
2	売上の停滞・減少(2)	43.3%
3	人件費の増加(9)	20.0%

■当面の重点経営施策

1	人材の確保(3)	56.7%
2	販路の拡大(2)	50.0%
3	経費の削減(1)	36.7%

■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲3.5	0.0	3.4	16.6
売上	▲6.9	▲11.1	16.7	0.0
収益	0.0	▲7.4	20.0	16.7
資金繰り	▲17.2	▲7.4	▲3.3	▲13.4



【卸売業】

【今期】資金繰りD Iにおいて、前期（1～3月）比で悪化したものの、その他のD Iにおいては改善となりました。経営上の問題点としては前期同様「売上の停滞・減少」と回答した企業が最も多い結果となりました。

【来期】すべてのD Iにおいて、今期実績比で改善を見込んでおります。重点経営施策として、「売上の停滞・減少」や「取引先の減少」を背景に「販路の拡大」を掲げる企業が最も多く、78.6%と大半を占める結果となり、増収増益策に注力する企業が多く窺えます。

■経営上の問題点（）内は前回順位

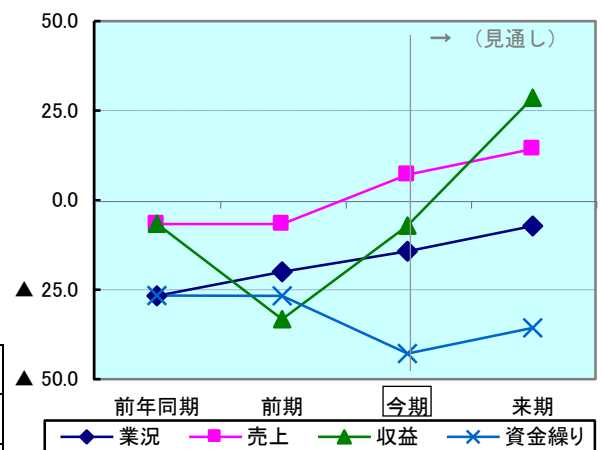
1	売上の停滞・減少(1)	35.7%
2	利幅の縮小(3)	28.6%
3	取引先の減少(4)	21.4%

■当面の重点経営施策

1	販路の拡大(1)	78.6%
2	経費の削減(2)	35.7%
3	品揃えの充実(8)	21.4%
	新事業の展開(5)	
	人材の確保(4)	

■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲26.7	▲20.0	▲14.3	▲7.2
売上	▲6.7	▲6.7	7.1	14.3
収益	▲6.6	▲33.3	▲7.1	28.6
資金繰り	▲26.6	▲26.7	▲42.8	▲35.7



【小売業】

【今期】すべてのD Iにおいて、前期（1～3月）比で改善となり、プラス水準となりました。経営上の問題点として「売上の停滞・減少」と回答した企業が多い中、本調査より「仕入先からの値上げ要請」と回答した企業が見受けられました。

【来期】すべてのD Iにおいて、今期実績比で改善が見込まれており、来期においても明るい兆しが窺えます。当面の重点経営施策としては「人材の確保」と回答する企業が多い中、本調査より増収策として「宣伝・広告の強化」と回答する企業も見受けられました。

■経営上の問題点（）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	売上の停滞・減少(1)	53.3%	1	人材の確保(3)	46.7%
2	人手不足(2)	40.0%	2	品揃えの充実(2)	40.0%
3	仕入先からの値上げ要請(5)	26.7%	3	宣伝・広告の強化(7)	26.7%

【サービス業】

【今期】業績、資金繰りD Iにおいて、前期（1～3月）比で悪化となったものの、売上、収益D Iにおいては改善となりました。経営上の問題点で「人手不足」と回答する企業が前回調査同様に多く、人手不足感が一段と強まる結果となりました。

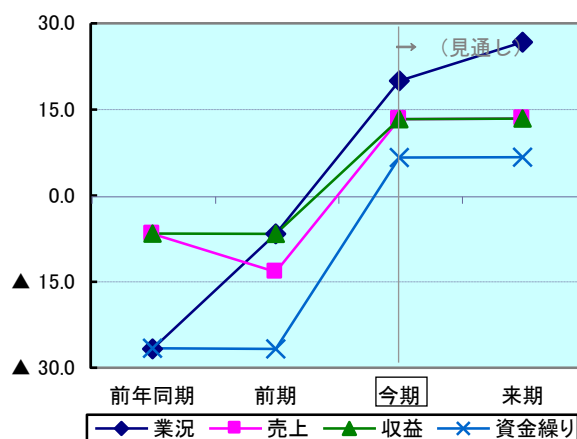
【来期】資金繰りD Iにおいて、今期実績比で横ばいを見込んでいるものの、その他のD Iにおいては改善が見込まれております。当面の重点経営施策としては人手不足解消に向けて、「人材の確保」と回答する企業が最も多い結果となりました。

■経営上の問題点（）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	人手不足(1)	51.9%	1	人材の確保(1)	59.3%
2	売上の停滞・減少(2)	37.0%	2	経費の削減(2)	40.7%
3	同業者間の競争の激化(4)	25.9%	3	販路の拡大(3)	33.3%
				教育訓練の強化(4)	

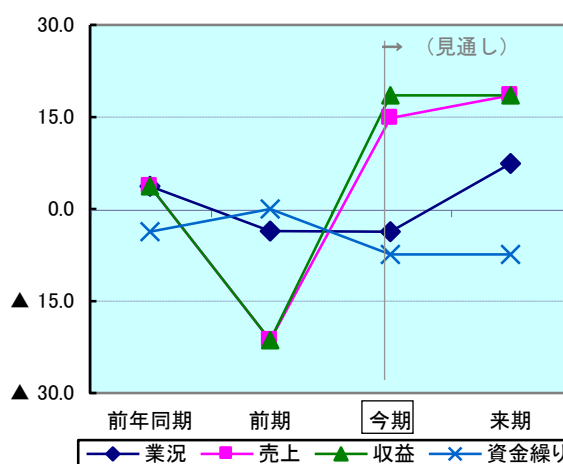
■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲26.7	▲6.7	20.0	26.7
売上	▲6.7	▲13.3	13.3	13.4
収益	▲6.6	▲6.7	13.3	13.4
資金繰り	▲26.6	▲26.7	6.6	6.7



■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	3.7	▲3.6	▲3.7	7.4
売上	3.7	▲21.4	14.8	18.5
収益	3.7	▲21.4	18.5	18.5
資金繰り	▲3.7	0.0	▲7.4	▲7.4



【建設業】

【今期】すべての各D Iにおいて、前期（1～3月）比で改善となっております。経営上の問題点としては本調査より「材料価格の上昇」と回答する企業が見受けられました。

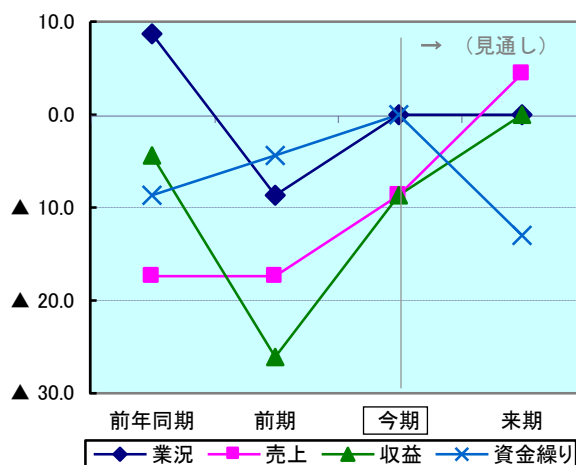
【来期】資金繰りD Iにおいて、今期実績比で悪化を見込んでいるものの、その他のD Iにおいては改善を見込んでおります。当面の重点経営施策としては同業者間の競争が激化するなか、「技術力の強化」と回答する企業が最も多く、他社との差別化等を図る企業が多く窺えます。

■経営上の問題点（ ）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	同業者間の競争の激化(1)	34.8%	1	技術力の強化(1)	56.5%
	売上の停滞・減少(3)		2	人材の確保(5)	39.1%
材料価格の上昇(5)	3		販路の拡大(3)	34.8%	
		情報力の強化(4)			

■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	8.7	▲8.7	0.0	0.0
売上	▲17.4	▲17.4	▲8.7	4.4
収益	▲4.4	▲26.1	▲8.7	0.0
資金繰り	▲8.7	▲4.4	0.0	▲13.0



【不動産業】

【今期】業況D Iは前期（1～3月）比で悪化したものの、その他のD Iにおいて改善となっております。経営上の問題点として「商品物件の不足」が71.4%となっており、地価が上昇する地域もある中、優良物件を探すことに苦慮している企業が多いことが窺えます。

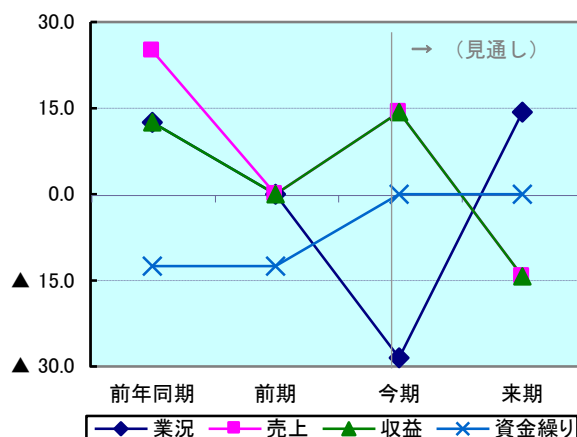
【来期】業況D Iは今期実績比で改善が見こんでいるものの、その他のD Iで横ばい、減少を見込んでおります。当面の重点経営施策として「販路の拡大」と回答した企業が57.1%と最も多い結果となりました。

■経営上の問題点（ ）は前回順位 ■当面の重点経営施策

1	商品物件の不足(1)	71.4%	1	販路の拡大(1)	57.1%
	売上の停滞・減少(3)		42.9%	2	経費の削減(2)
人件費以外の経費の増加(3)	2	情報力の強化(1)			

■主要D Iの推移

	前年同期	前期	今期	来期
業況	12.5	0.0	▲28.5	14.3
売上	25.0	0.0	14.3	▲14.3
収益	12.5	0.0	14.3	▲14.3
資金繰り	▲12.5	▲12.5	0.0	0.0



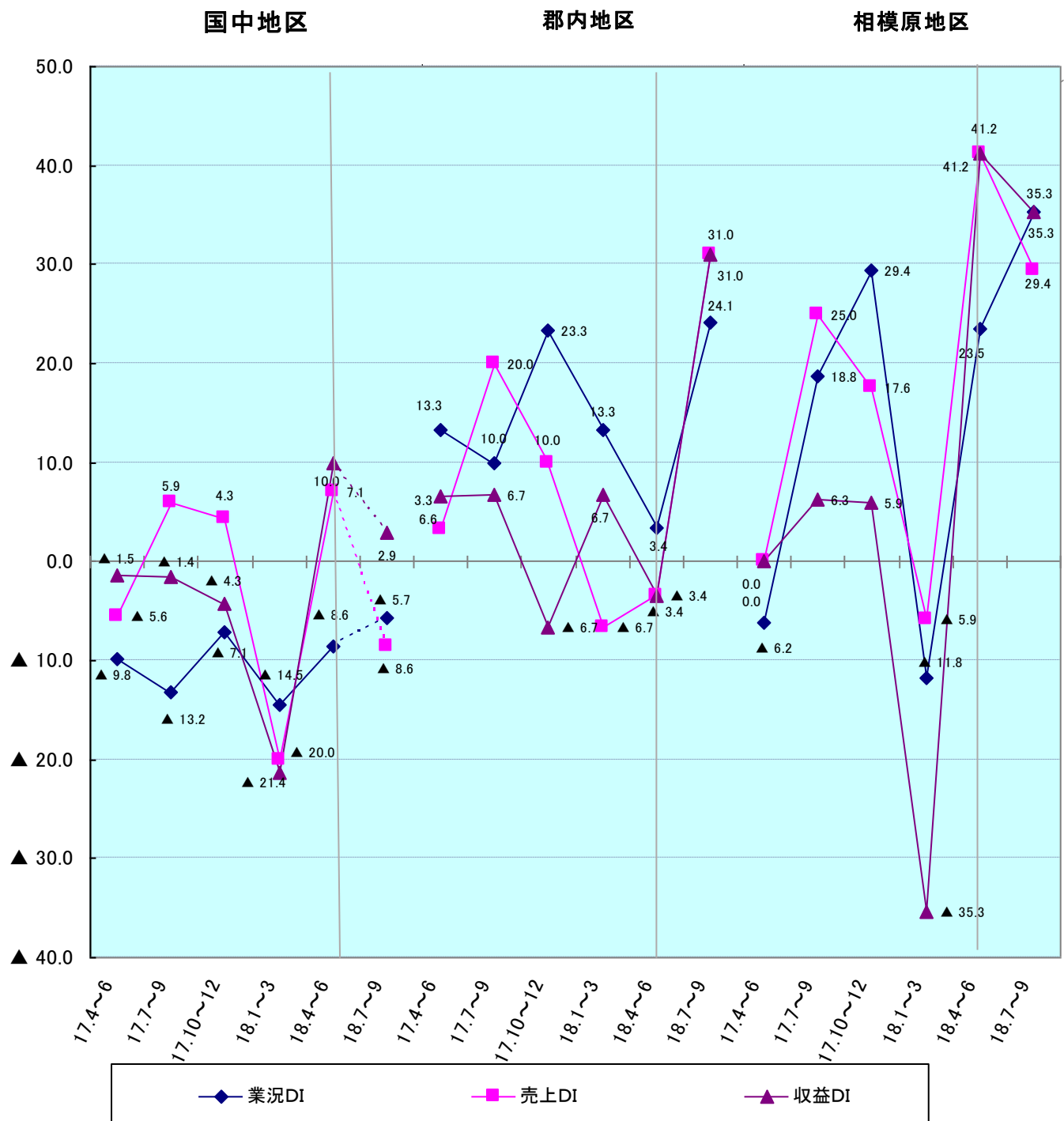
<地区別D I の状況>

国中地区においては、すべてのD Iが前期（1～3月）比で改善となりました。

郡内地区においては、売上D Iが▲6.7から▲3.4と同3.3ポイント改善したものの、業況D I、収益D Iは悪化となりました。

相模原地区においては、すべてのD Iが前期（1～3月）比で大幅に改善となりました。

来期の見通しについては、国中地区、相模原地区においては業況D Iにおいて、改善を見込んでいるものの、売上、収益D Iは悪化を見込んでおります。郡内地区はすべてのD Iにおいて、改善を見込んでおります。

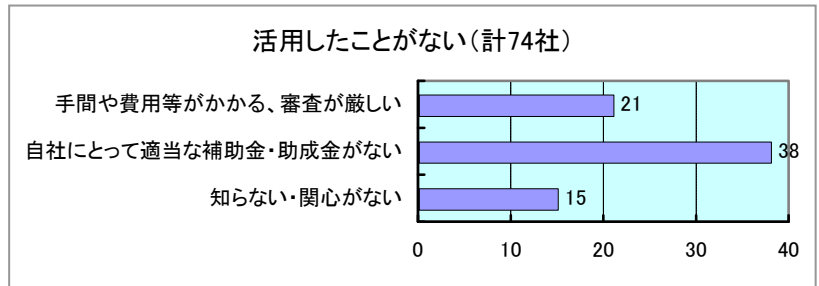
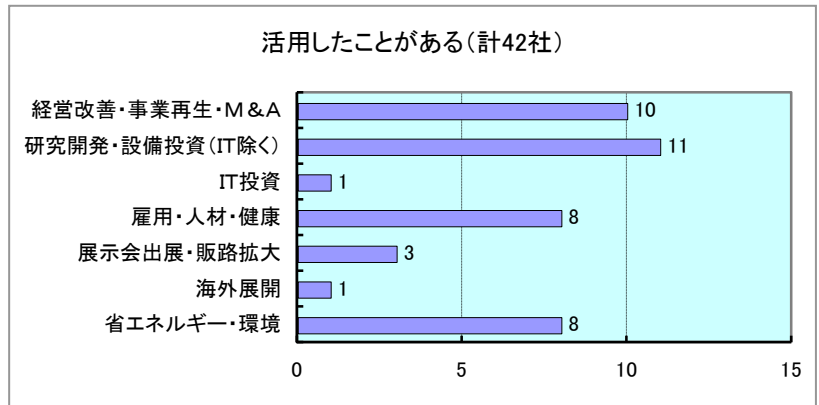
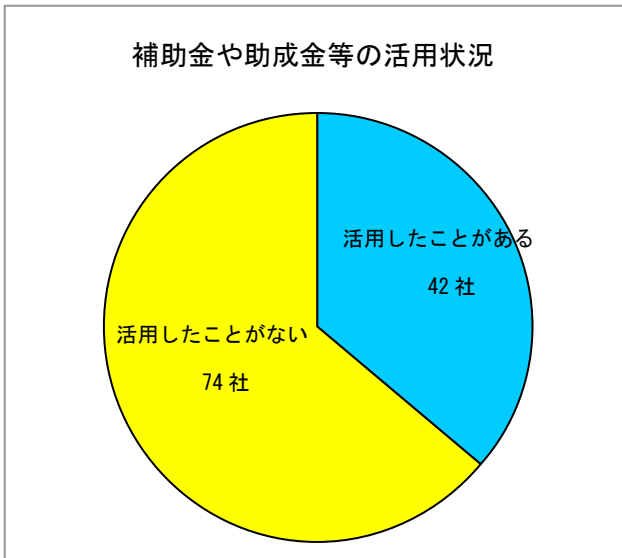


特別調査

中小企業経営に関する各種支援制度の利用について

◆国や都道府県等では、中小企業支援に係る補助金や助成金制度が用意されています。貴社が特に役立ったと考えるものはありますか。(回答企業数：116社)

(単位：社)

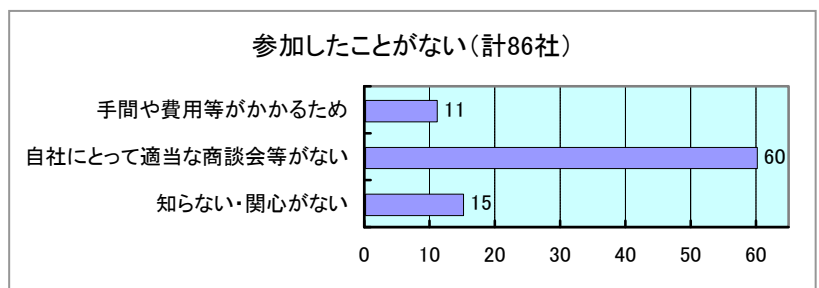
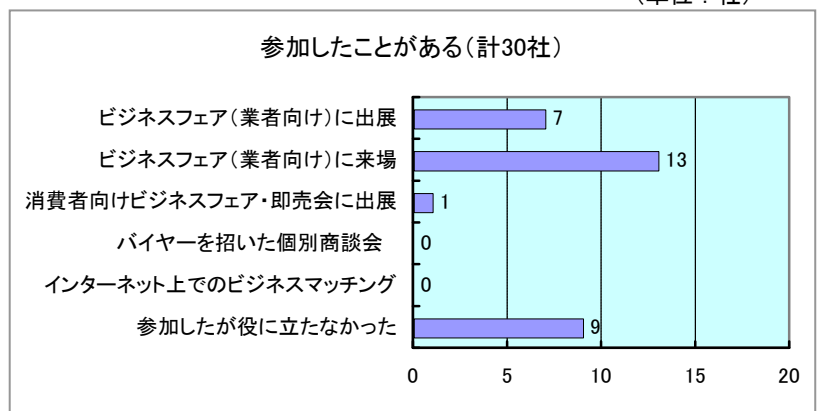
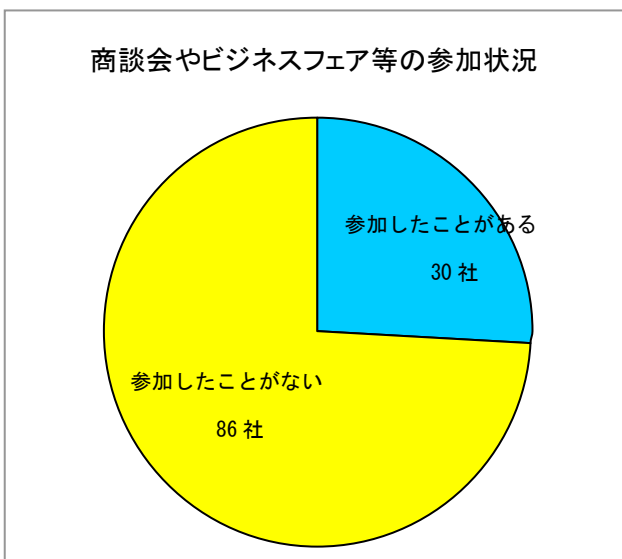


補助金や助成金等の活用について、「活用したことがある」と回答した企業が42社(36.2%)となり、一方、「活用をしたことがない」と回答した企業が74社(63.7%)となりました。活用したことがある企業のうち、活用して役に立った補助金や助成金は「研究開発・設備投資(IT除く)」が11社(9.4%)、「研究開発・設備投資(IT除く)」が10社(8.6%)となりました。活用したことがない理由としては、「自社にとって適当な補助金・助成金がない」が38社(32.7%)と最も多い結果となりました。

◆これまで参加した公的機関や金融機関等が主催する商談会やビジネスフェアのなかで、役に立ったと考えるものはありますか。また参加したことがない場合、理由はなんですか。

(回答企業数：116社)

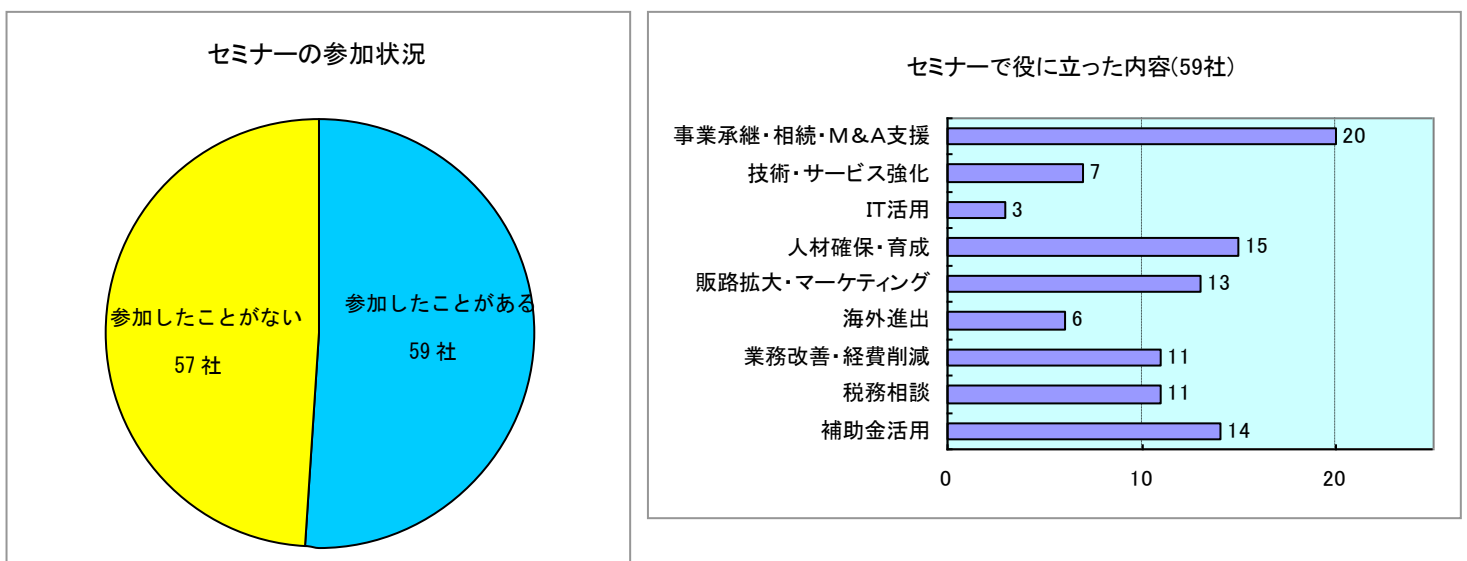
(単位：社)



商談会やビジネスフェア等について、「参加したことがある」と回答した企業が 30 社 (25.8%) となり、一方、「参加したことがない」と回答した企業が 86 社 (74.1%) となりました。参加したことがある企業のうち、参加して役に立った商談会やビジネスフェアの種類としては、「ビジネスフェア（業者向け）に来場」と回答した企業が 13 社 (11.2%) となり、次いで「参加したが役に立たなかった」と回答した企業が 9 社 (7.7%) となりました。一方、参加したことがない理由としては「自社にとって適当な商談会等がない」が 60 社 (51.7%) と最も多い結果となりました。

◆公的機関等が主催するセミナーに参加したことがありますか。参加したことがある場合、役に立ったセミナーは何ですか。（複数回答）（回答企業数：116 社）

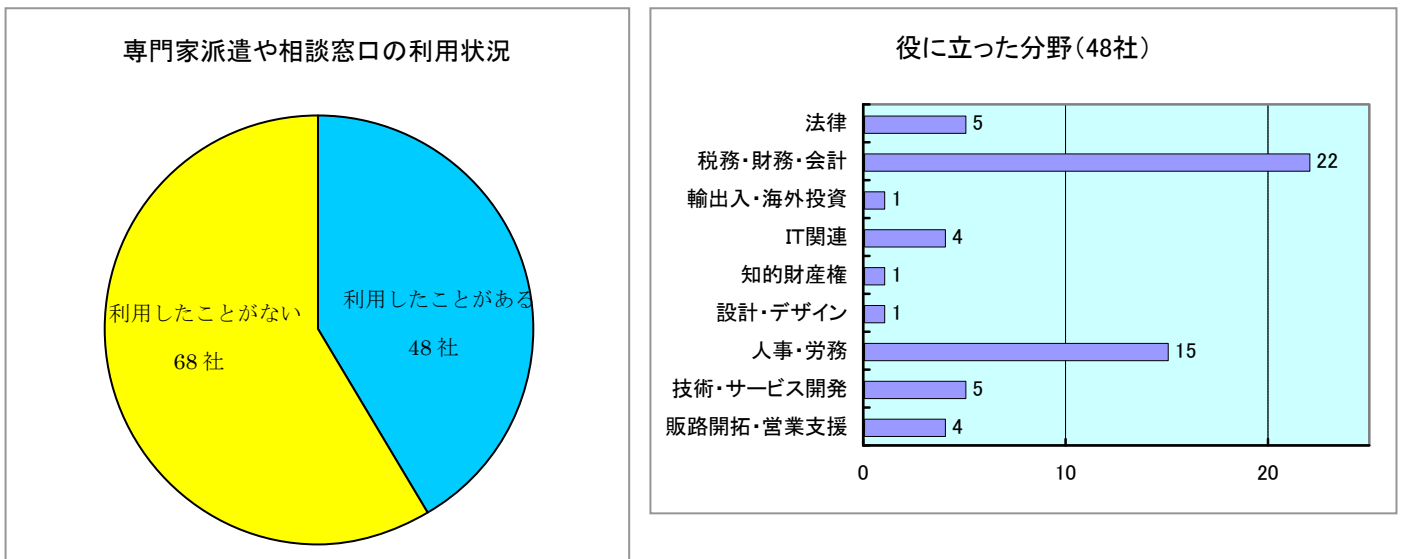
（単位：社）



セミナーについて「参加したことがある」と回答した企業が 59 社 (50.9%) となったのに対して、「参加したことがない」と回答した企業が 57 社 (49.1%) となりました。参加したことがある企業のうち、セミナーに参加して、役に立った内容としては「事業承継・相続・M&A支援」と回答した企業が 20 社 (17.2%) と最も多くなり、次いで「人材確保・育成」と回答した企業が 15 社 (12.9%) となりました。

◆公的機関や金融機関が行っている専門家派遣や相談窓口で特に役に立った分野は何ですか。
(複数回答) (回答企業数: 116社)

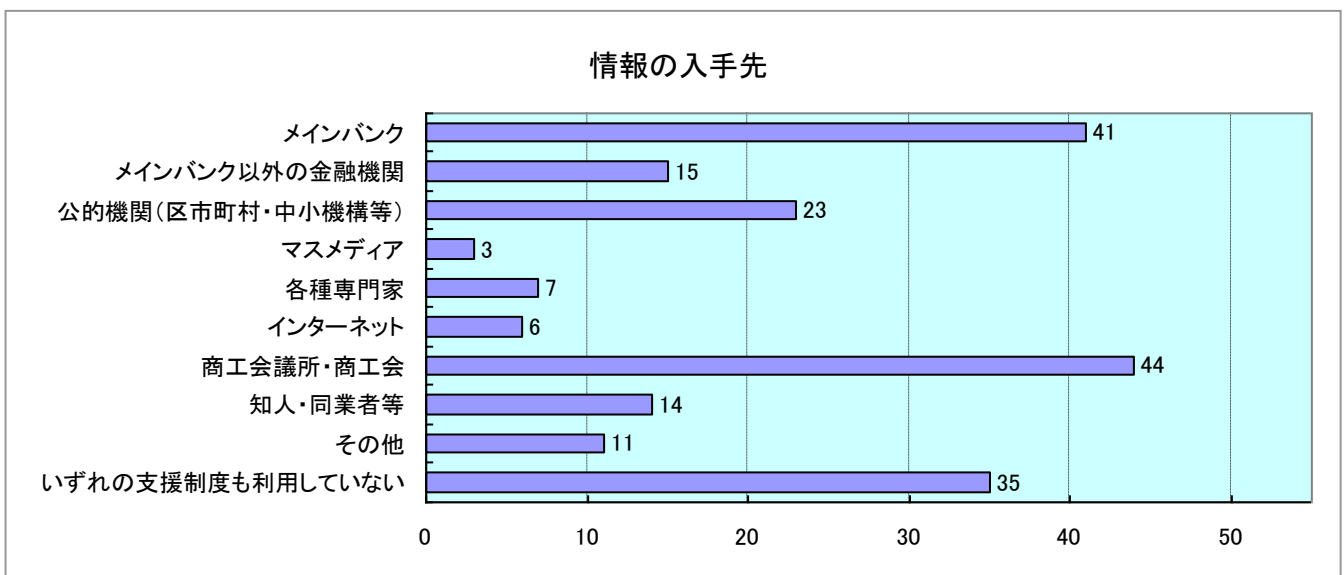
(単位: 社)



公的機関や金融機関が行っている専門家派遣や相談窓口について、「利用したことがある」と回答した企業が48社(41.4%)となったことに対して、「利用したことがない」と回答した企業は68社(58.6%)となりました。利用したことがある企業のうち、役に立った分野は「税務・財務・会計」と回答した企業が最も多く22社(18.9%)となり、次いで「人事・労務」と回答した企業が15社(12.9%)となりました。

◆支援制度を利用するにあたり、それらの情報をどこから入手しましたか。
(複数回答) (回答企業数: 116社)

(単位: 社)



支援制度の利用にあたり、情報の入手先については「商工会議所・商工会」と回答した企業が最も多く、44社(37.9%)となり、次いで「メインバンク」が41社(35.3%)となりました。また、いずれの支援制度も利用していないと回答した企業は35社(30.1%)となりました。

調査員のコメント

製造業

○特許を取得した技術を取り入れた商品の開発等、新製品の開発に努めるものの、売上の増加には至っていない。今後は企画商品や海外生産の低価格商品の販売を行い、売上の増加に努めていく方針。

（貴金属製造業）

○収益は増加したが、昨年度退職した従業員の補充ができず、人手不足を感じている。保証協会を通して、中小企業診断士の専門家派遣の活用をしており、今後も外部機関も活用していきたい。（貴金属製造業）

卸売業

○売上はほぼ横ばいではあるが、仕入先からの値上要請を販売価格転化に苦慮している。

（包装資材卸売業）

小売業

○市内人口が減少している中、他店で扱っていない商品を扱うことにより、差別化を図っている。近隣住民から旅行客まで幅広い客層をもち、売上増加を図る。（菓子販売業）

サービス業

○今年的大型連休等は天候に恵まれ、順調に売り上げが推移しているとのこと。これからの夏期シーズンにあたり、人手確保が当面の課題。（宿泊業）

建設業

○業況は安定傾向にあるが、依然とし、材料費が高止まりしており、利幅の確保に苦慮している。経費の削減等に努め、収益確保を図る。（冷凍・空調機器等設置工事業）

不動産業

○良質な物件の仕入が難航しており、在庫不足による売上減少等になっている。今後も情報収集と商品在庫の確保が課題。（不動産販売業）

☆山梨県、神奈川県(相模原地区)トピックス(7~9 月期)

7 月

南アルプス山麓サマーフェスティバル (開催日 : 7 月 28 日)

⇒避暑地の夜を模擬店や各種イベントが、橿形総合公園で開催されます。桃やスモモが最盛期を迎える時期に、新鮮な農産物の直売やステージでのお笑いライブ等が行われます。お祭りの最後には、夏の夜空を彩る花火も打ち上げられます。

【交通アクセス】会場 : 南アルプス市橿形総合公園 (南アルプス市桃園 1600)
中部横断自動車道南アルプス I C より約 10 分 駐車場あり

笛吹川県下納涼花火大会 (開催日 : 7 月 28 日)

⇒山梨県内花火大会で一番初めに開催される花火大会であり、市内の商工業者が日頃の感謝の気持ちを込めて行ったのが始まりであり、スターマインを中心に約 3,000 発の花火が舞い上がります。

【交通アクセス】会場 : 笛吹川万力大橋下流 (山梨市上神内川)
JR 中央本線「山梨市駅」より徒歩 3 分

山中湖花の都公園 (開催日 : 7~8 月)

⇒山中湖花の都公園で、夏にはひまわりやサンパチェンス等、春から秋にかけて花々が咲き誇る花の都公園。例年 7~8 月に開催されるイベント「夏の清風」で満喫できます。連日多くの外国人観光客も詰めかけ、富士山を背景に楽しめます。

【交通アクセス】会場 : 花の都公園 (南都留郡山中湖村山中 1228)
東富士五湖道路山中湖 I C より約 5 分 駐車場あり

8 月

さがみ湖湖上祭 (開催日 : 8 月 1 日)

⇒歴史が古い湖上祭で、ナイアガラや約 5,000 発の打ち上げ花火が映し出す湖面の輝きが幻想的です。

【交通アクセス】会場 : 相模湖湖畔 (県立相模湖公園前) (相模原市緑区与瀬)
中央本線「相模湖駅」より徒歩 10 分

橋本七夕まつり (開催日 : 8 月 3 日~5 日)

⇒相模原市の夏 4 大まつりの一つ。地域の学生・団体などが制作する約 200 本の美しい竹飾りや毎年、趣向を凝らしたユニークな作品を見ることができます。

【交通アクセス】会場 : JR 橋本駅周辺
JR 横浜線・相模線・京王線「橋本駅」下車

8月

神明の花火大会（開催日 8月7日）

⇒今年で30回目の記念大会でもあり、目玉として全国でも数少ない2尺玉を含め、約2万発の花火が打ち上げられる予定となっています。当日は無料のシャトルバスの運行も予定されています。

【交通アクセス】会場：三郡橋下流笛吹川河畔（西八代郡市川三郷町）

身延線「市川大門駅」より徒歩10分

中央自動車道甲府南IC～国道140号線経由 約10km 駐車場あり

円野かかし祭り（開催日：8月中旬～9月）

⇒毎年世相を反映したユニークなかかしが「かかしの里」の田園地帯に展示されます。展示された「かかし」は、すべて募集された作品です。また、「かかし」のコンクール表彰式が開催されます。

【交通アクセス】会場：つぶらの会館付近（韮崎市円野町下円井1199-3）

中央自動車道韮崎ICより約20分

鎮火大祭（開催日 8月26日、27日）

⇒日本三奇祭の一つに数えられる鎮火大祭（吉田の火祭り）が執り行われます。このお祭りには例年20万人以上の参詣者が訪れ、勇壮な神輿の渡御、街を一面火の海と化す大松明が点火されます。

【交通アクセス】会場：富士山駅周辺～北口本宮富士浅間神社

富士急行線「富士山駅」下車

9月

八朔祭（開催日：9月1日）

⇒都留市を体表する祭りとして毎年9月1日に秋の例祭として行われます。地元では、「おはっさく」と呼ばれており、屋台や江戸衣装に身を飾った大名行列等行われ、多くの観光客で賑わいを見せます。

【交通アクセス】会場：谷村第一小学校周辺、高尾町通り（都留市上谷1-1-2）

中央自動車道都留ICより約5分

巨峰の丘マラソン（開催日：9月16日）

⇒巨峰の生産量日本一の山梨市牧丘町で開催。標高差最大300m、巨峰畑の間を駆け抜けます。参加賞には特産の巨峰がもらえます。

【交通アクセス】会場：山梨私立笛吹小学校グラウンド（山梨市牧丘町窪平1200）

中央自動車道勝沼ICより約30分 駐車場あり

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査においては、お忙しい中、ご協力賜りまして誠にありがとうございました。

今回の調査では、業況判断DIが前期比 5.2 ポイント改善の▲0.9 となりました。一方、来期の見通しについては、今期実績比 10.3 ポイント改善の 9.4 とプラス水準が見込まれています。

今回の特別調査では「中小企業経営に関する各種支援制度の利用について」と題して調査をいたしました。本調査では、経営改善や相続、税務、会計等の内部体制の強化に繋がる支援制度を役に立ったと考える企業が多い一方、制度自体を利用したことがないと回答する企業が数多く見受けられる結果となりました。

当金庫におきましても、今後とも地域の皆さまの助力となれるようにお客様それぞれのニーズに応じた商品・サービス提供や各種支援制度等の情報提供にも一層、努めてまいります。本年度につきましては、当金庫主催のビジネスマッチングを開催予定となっており、皆さまのお取引増加等にお役に立てただければ幸いに存じます。

また、山梨県、神奈川県（相模原地区）の情報やイベント等を掲載しております。イベント等につきましては、近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

その他、地域の事業者が抱える様々な課題に対しましても積極的にご支援していく所存ですので、お気軽に当金庫営業店または担当者までご相談ください。